

埋蔵文化財 三五一又

ISSN 0389-3731

奈良国立文化財研究所
埋蔵文化財センター
〒630 奈良市二条町2-9-1
☎ 0742-34-3931

1981.9.1

33

CAO NEWS

Centre for Archaeological Operations



条里・水田遺跡関係文献目録

稗田

往古池

小美濃庄

大江

若槻

下つ道

菩提仙川

条里・水田遺跡関係文献目録

凡 例

1. この文献目録は、条里（条坊を除く）・水田遺跡に関する文献を、全般にわたるもの（日本・外国）と旧国別（『延喜式』記載順）に分けて収録した。
2. この目録は、条里に関しては原則として1973年1月から1981年3月に発表されたものについて掲載したものであるが、水田遺跡関係については、1972年以前にも及んでいる。
3. この目録は、条里に関しては落合重信『条里制』所収「条里制研究文献目録」（昭和40・12現在）及び『日本歴史』第308号所収の落合重信「条里制研究文献目録」^{補遺}（昭和47・12現在）に続くものである。なお前二者を補う意味で、1972年以前に及んだものがある。
4. 国別の中では研究論文、地誌、遺跡調査報告書の順に分けており、その分類内では年代順になっている。遺跡調査報告書のうち水田遺跡については・印を附した。
5. 編著者名、書名、発行所の一部については省略を行ない、他にもこれに準じたものがある。

例 『埋蔵文化財調査報告書』→『埋文報』 『文化財調査報告書』→『文報』
教育委員会 → 教委

6. 本目録の作成にあたっては、次の諸機関、諸氏の協力を得た。謝意を表したい。
国立国会図書館閲覧課・奈良教育大学附属図書館・奈良県立奈良図書館・
奈良大学 吉越昭久・京都国立博物館 八賀 晋
7. この目録は木全敬蔵・岩本次郎を中心として編集したものである。この目録の作成に当っては、原典にあたるよう努めたが、実見できなかった文献も多いため、誤脱も少なくないと思われ、また逸している文献も多いと予想される。収録分の訂正も含めて、当センターまで御連絡いただきたい。後日改めて補足・訂正したい。

〔表紙写真説明〕 1962年12月撮影（1：6,500）のもので、大和郡山における典型的な条里制地割を示しているが、近年の住宅団地造成のため、現在は下つ道ぞいの条里遺構の破壊が著しい。その事前発掘調査で、奈良時代の河川跡と運河および橋げたの遺構が検出された。

一、全般にわたるもの

日 本

坂詰 秀一他	「荘園と条里と池と館」『シンポジウム歴史時代の考古学』	学 生 社	71
藤岡謙二郎編	「条里地割と条里式村落」『日本歴史地理ハンドブック』(増訂版)	大 明 堂	72
白井 義彦	『日本の耕地整備』	大 明 堂	72
服部 昌之	「条里制研究の課題と方法」『人文地理』25-2	人文地理学会	73
渡辺 久雄	「条里遺構の解釈をめぐる」『地域史研究』2-3	尼崎市史編修室	73
竹内 理三	「条 里 制」『体系日本史叢書』6 土地制度史 I	山川出版社	73
稲田 孝司	「古代都宮における地割の性格」『考古学研究』19-4	考古学研究会	73
藤岡謙二郎	『地形図に歴史を読む』5	大 明 堂	73
足利 健亮	「条里遺構の持つ価値——土地開発史の証人」『朝日新聞』(夕刊) 73. 10. 13	朝日新聞社	73
倉田 康夫	「条里制の研究とその問題点」『中京大学文学部紀要』9-2	中京大学	74
落合 重信	「条里制起源論再々説——弥永貞三「半折考」批判——」『兵庫史学』64	兵庫史学会	74
岸 俊男	「方格地割の展開」『日本書紀研究』8	塙 書 房	75
千田 稔	「ミヤケの地理的実体——畿内とその周辺における立地と地割の問題」『史林』58-4	史学研究会	75
水野柳太郎	「面積計算法と方格地割」『名古屋大学日本史論集』上	吉川弘文館	75
柴田 孝夫	『地割の歴史地理学的研究』	古今書院	75
藤岡謙二郎	『日本歴史地理総説』古代編<「開発」の項>	吉川弘文館	75
服部 昌之	「埋没条里地割研究ノート」『人文研究』27-1	大阪市立大学	75
高重 進	『古代・中世の耕地と村落』	大 明 堂	75
秋山日出雄	「日本古代の道路と一步の制」『榎原考古学研究所論集』	吉川弘文館	75
服部 昌之	「古代の直線国境について」『歴史地理学会紀要』17	歴史地理学会	75
足利 健亮	「土地開発史と農業の発達——古代・中世」『歴史の空間構造』	大 明 堂	76
広岡 公夫	「古寺伽藍中軸線方位と考古地磁気——日本における磁石使用の起源について——」『考古学雑誌』62-1	日本考古学会	76
金田 章裕	「条里制施行地における島畑景観の形成」『地理学評論』49-4	日本地理学会	76
倉田 康夫	『条里制と荘園』	東 京 堂	76
金田 章裕	「地割と微地形」『岩波講座日本歴史月報』16	岩波書店	76
千田 稔	「アガタの歴史地理学的試考」『追手門学院大学創立十周年記念論集(文学部)』	追手門学院大学	76
足利 健亮	「都城の計画について」『都城』	社会思想社	76
矢守 一彦	『空からみた歴史景観』	大 明 堂	76
足利 健亮	「日本古代の計画道路」『地理』21-20	古今書院	76
木下 良	「国府の『十字街』について」『歴史地理学会紀要』19	歴史地理学会	77
千田 稔	「形態と象徴——方格プランの場合——」『歴史地理学会会報』92	歴史地理学会	77
高木 勇夫	「条里制の成立と自然環境」『地理』22-2	古今書院	77
一志 茂樹	「わが国における圃場整備事業と地方史研究」『信濃』29-3	信濃史学会	77

藤岡謙二郎	『地理学と歴史的景観』	大明堂	77
稲田 孝司	「古代水田遺構の発掘調査」『月刊文化財』78年10月号	第一法規出版	78
藤岡謙二郎	『景観変遷の歴史地理学的研究』	大明堂	78
足利 健亮	「条里地割の施工年代」『地理』23-6	古今書院	78
桑原 公徳	「古代中世の文献田積について——和名抄田積を中心に——」 『歴史地理研究と都市研究』上	大明堂	78
藤岡謙二郎	『古代日本の交通路』I~IV	大明堂	78
木下 良	「日本古代官道の復原的研究に関する諸問題——特に その直線的路線形態について——」『人文研究』70	神奈川大学人文学会	78
高木 勇夫	「条里地域の分布と沖積面」『日本地理学会予稿集』14	日本地理学会	78
田村 勝正	「『条里図帳考』について」『日本地理学会予稿集』15	日本地理学会	78
弥永 貞三 谷岡 武雄	『伊勢湾岸地域の古代条里制』	東京堂	79
菊地 利雄	「行動歴史地理学の論理と歴史心理」『歴史人類』7	筑波大学	79
古島 敏雄	「条里制と墾田政策」『図説日本文化の歴史』3	小学館	79
谷岡 武雄	「歴史的景観の存在形態」『歴史地理学』	古今書院	79
千田 稔	「古代空間の構造」『奈良女子大学地理学研究報告』1	奈良女子大学	79
木原 克司	「古代水田址に関する二三の問題」 『歴史地理学会会報』104	歴史地理学会	79
弥永 貞三	『日本古代社会経済史研究』	岩波書店	80
日下 雅義	『歴史時代の地形環境』	古今書院	80
・岡本 明郎	「弥生時代における水田利用」『考古学研究』15-4	考古学研究会	69
・鏡山 猛	「弥生期の水田遺構について」『九州考古学論考』	吉川弘文館	72
・江坂 輝弥	「日本における水田遺構の発掘」 『考古学ジャーナル』152	ニュー・サイエンス社	78
・間壁 忠彦	「農耕の展開」『図説日本文化の歴史』1	小学館	79
・八賀 晋	「水田区画にみる水稲耕作技術」 『日本の黎明——考古資料にみる日本文化』	京都国立博物館	79
・乙益 重隆	「古代水田区画雑考」鏡山猛先生古稀記念古文化論攻』 (大宰府史跡発掘調査研究所内)	同論文集刊行会	80
外 国			
堀 敏一	『均田制の研究』	岩波書店	75
楠山 修作	「阡陌雑説——とくに墓地との関係について——」 『歴史地理研究と都市研究』下	大明堂	78
山田 安彦	「ケントゥリア地割の遺構に関する若干の問題」 『歴史地理研究と都市研究』下	大明堂	79
谷岡 武雄	「条里制とケンチュリア——日本とヨーロッパにおける古代農 地システムの諸問題」『歴史地理学』	古今書院	79
谷岡 武雄	「古代ローマのケンチュリア」『古代を考える』23	古代を考える会	80
古賀 登	『漢長安城と阡陌・県郷亭里制度』	雄山閣	80
谷岡 武雄	「古代条里制 東と西」『朝日新聞』(夕刊)81.3.30	朝日新聞社	81

二、旧国別分類

畿内

- 千田 稔 「ミヤケの地理的実体——畿内とその周辺における立地と地割」 史学研究会 75
 「ミヤケの問題」『史林』58-4
- 和田 萃 「竹の内街道とその周辺」『古代を考える』8 古代を考える会 76

山城

- 足利 健亮 「恭仁京の京極及び和泉・近江の古道に関する若干の覚え書」 大阪府立大学 70
 「き」『社会科学論集』1
- 足利 健亮 「長岡京と古道」『地形図に歴史を読む』4 大明堂 72
- 足利 健亮 「山科盆地の古道」『地形図に歴史を読む』5 大明堂 73
- 谷岡 武雄 「南山城の条里」『地形図に歴史を読む』5 大明堂 73
- 中山 修一 「条里の考察」『洛西ニュータウン地域の歴史地理学的調査』 京都市 73
- 鳥居 治夫 「山城国宇治郡条里に関する考察」『近江』1-4 近江考古学研究会 74
- 小林 清 「乙訓郡の条里と長岡京の条坊」『長岡京の新研究』 叡山書房 75
- 金田 章裕 「13・14世紀における京郊の村落景観」『歴史地理研究と都市研 大明堂 78
 究』上
- 金田 章裕 「平安初期における嵯峨野の開発と条里プラン」『追手門学 追手門学院大学 78
 院大学文学部紀要』12
- 吉本 昌弘 「長岡京の条里地割について」『長岡京』14 長岡京跡発掘調査研究所 79
- 吉本 昌弘 「恭仁京跡の条里地割について」『歴史地理学会会報』110 歴史地理学会 80
- 『田辺町史』 「田辺町内の条里制」 68
- 『京都の歴史』1 「班田と条里」 70
- 『宇治市史』I 「村落と条里」 武藤直・桑原公徳 73
- 『井手町史』第1集 「古代条里制からみた井手町」 谷岡武雄 73
- 『洛西ニュータウン地域の歴史地理学的調査』 京都市 73
- ・中山 修一 「水田に関する覚え書き1——発掘調査を通して気づいたこと——」『歴史地理研究と都市研究』上 大明堂 78

大和

- 秋山日出雄 「平城京と条里制地割」『同史論叢』 赤松俊秀教授退官記念会 72
- 岡田 隆夫 「大和国宇智郡の条里をめぐって」『続日本古代史論集』下 吉川弘文館 72
- 大井重二郎 「条里制より見た橿津・永屋原・穂積の位置」『万葉』81 万葉学会 73
- 八賀 晋 「条里遺構」『古代史発掘』10 講談社 74
- 狩野 久 「大和条里の計測」『奈良国立文化財研究所年報』 奈良国立文化財研究所 76
 1975
- 狩野 久 「大和条里の計測（続）」『奈良国立文化財研究所年 奈良国立文化財研究所 76
 報』1976
- 泉谷 康夫 「大和国の壱田——古代的景観の復元と関連して——」 奈良教育大学 76
 『古文化財教育研究報告』6
- 金田 章裕 「奈良盆地の古代屋敷跡」『空から見た歴史景観』 大明堂 76

金田 章裕	「中ツ道と条里プラン」『F H G』46	I. F. H. G	76
藤岡謙二郎	「奈良盆地南部の条里地割と現在の景観」『地理学と歴史景観』	大明堂	77
網干 善教	「倭京（飛鳥）地割の復原——飛鳥地方の寺院跡を中心として——」『考古学研究紀要』3	関西大学	77
金田 章裕	「平安期の大和盆地における条里地割内部の土地利用」『史林』61-3	史学研究会	78
千田 正美	『奈良盆地の景観と変遷』	柳原書店	78
坪井 清足	「条里制に関する二三の問題」『畿内古代の歴史地理学的諸問題』	I. F. H. G F. H. G	78
岸 俊男	「京東の川と京南の道」『畿内古代の歴史地理学的諸問題』	I. F. H. G F. H. G	78
秋山日出雄	「大和『飛鳥川』の歴史地理学的研究」『歴史地理研究と都市研究』上	大明堂	78
中野 栄夫	「畿内村落の変貌」『古代の地方史』3	朝倉書店	79
木全 敬蔵	「条里制地割の計量的解析——とくに大和路東条里の場合——」(学会発表要旨)	奈良地理学会	79
足利 健亮	「下ツ道の拡がりとうつろい」『環境文化』40	環境文化研究所	79
千田 稔	「下ツ道北部における路東条里と路西条里の1町の齟齬に関する問題について」『環境文化』40	環境文化研究所	79
千田 稔	「横大路の歴史地理」『環境文化』45	環境文化研究所	79
大井重二郎	「条里制より見た柄・櫛津・長屋原・穂積・坂手の位置」『万葉集歌枕の解疑』	双文社	80
片平 博文	「条里地割内部にみられる1反未満の地積とその分布——奈良盆地の場合——」『日本地理学会予稿集』18	日本地理学会	80
岩本 次郎	「平城京京南特殊条里の一考察」『日本歴史』385	日本歴史学会	80
片平 博文	「条里型地割内部にみられる1反未満の地積とその分布——奈良盆地の場合——」『地表空間の組織』	立命館大学文学部地理学教室 立命館大学地理学同好会	81
『王寺町史』	「条里制と王寺」		69
『平城村史』	「京北条里考」	秋山日出雄	71
『明日香村史』上巻	「郷と条里」	岸 俊男	74
『三宅町史』	「古代の農村計画・条里地割の復原」	高橋誠一	75
『三郷町史』	「条里制」	秋山日出雄	76
『天理市史』上	「条里の制」	秋永政孝	76
『平群町史』	「内平群条里の復原」	秋山日出雄	76
	「条里地割」	千田 稔	76
『香芝町史』	「条里制」	木村芳一	76
『当麻町史』	「条里制」	木村芳一	76
『川西村史』	「条里の制度と寺領荘園」	秋永政孝・平井良朋	76
『上牧町史』	「真野・墓門の条里について」	木村芳一	77
『斑鳩町史』	「条里と荘園」	堀池春峰	79
「秋篠寺境内発掘調査報告」	『奈良県文報』15	奈良県教委	71
「奈良県桜井市纏向遺跡の調査」	『纏 向』	桜井市教委	76
「発志院遺跡」	『奈良県遺跡調査概報』1976	橿原考古学研究所	77

・「稗田遺跡」	『奈良県遺跡調査概報』1976	橿原考古学研究所	77
・「大和郡山市稗田遺跡の調査」	『日本考古学協会昭和53年度 総合研究発表要旨』	日本考古学協会	77
「田原本町矢部地区試掘調査概報 —国道24号線バイパス建設予定地—」	『奈良県遺跡調査概報』1977	橿原考古学研究所	78
「斑鳩町高安遺跡発掘調査報告 付 太子道の立会調査記録」	『奈良県遺跡調査概報』1977	橿原考古学研究所	78
・「初期水田利農耕の展開——奈良 盆地の場合——」	『歴史地理研究と都市研究』上 伊達宗泰	大明堂	78
・「奈良県稗田遺跡」	『日本考古学年報』29	日本考古学協会	78
・「慈光院裏山遺跡」	『奈良県遺跡調査概報』1977	橿原考古学研究所	78
「洒之免遺跡発掘調査報告書」	『奈良県遺跡調査概報』1978	橿原考古学研究所	79
・「国道24号線バイパス工事に伴う試掘 調査概報——橿原市飯高・小槻地区——」	『奈良県遺跡調査概報』1978	橿原考古学研究所	79

摂河泉

足利 健亮	「摂河泉の計画古道」『古代を考える』8	古代を考える会	76
大越 勝秋	『大阪府下の条里制坪名帳』(私刊)		77
大越 勝秋	「大阪府下(摂河泉)の条里制坪名帳」『大阪府の歴史』8	大阪府史編集室	77
服部 昌之	「大阪平野低地古代景観の基礎的研究」『歴史地理研究と都市研 究』上	大明堂	78
『大阪府史』第1巻古代編I	「条里地割と水田」『条里制と古墳』	森浩一	78

河内

大越 勝秋	「河内国における条里制補遺(4)」『社会科研究』		70
谷岡 武雄	「古代条里制からみた誉田白鳥遺跡」『誉田白鳥遺跡発掘調査概 要』II	大阪府教委	73
足利 健亮	「中河内の条里」『F. H. G』34	I. F. H. G	73
有蘭正一郎	「丹比郡条里の復原について」『古代を考える』1	古代を考える会	75
谷岡 武雄	「志紀郡・丹比郡条里制復原図」『はさみ山遺跡発掘調査報告 書』	大阪府教委	75
棚橋 利光	「八尾の条里制」『八尾市史紀要』5	八尾市教委	76
金井 年	「歴史地理学からみた寺内町の性格——八尾の三つの寺内町 を比較して——」『歴史地理学会会報』108	歴史地理学会	80
『枚岡市史』第2巻別編	「条里制と古代地名」	藤岡謙二郎他	65
『枚岡市史』第1巻本編	「条里制」	藤井直正	67
『柏原市史』第2巻	「土地制度」		73
『大東市史』	「条里制」	浄謙俊文	73
「池烏町の条里遺構——調査概報——」		東大阪市遺跡保護調査会	73
『長原遺跡発掘調査中間報告』1・2		長原遺跡調査会	74

『池島町の条里遺構—48年度・49年度 発掘調査概要—』	東大阪市遺跡保護調査会	75
・『大阪府住宅供給公社津田団地内遺跡発掘調査概要報告』	枚方市文化財研究調査会	76
『池島町の条里遺構— 調査概報—』	東大阪市遺跡保護調査会	77
・『長原 近畿自動車道天理～吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書』	大阪府教委・大阪文化財センター	78
・『月刊文化財』181 「大阪市長原遺跡の水田址」	永島暉臣 第一法規	78
・『大和川 今池遺跡— 第一地区発掘調査報告—』	大和川・今池遺跡調査会	79
『平野遺跡群緊急調査報告書』	大阪府教委	79
『大和川・今池遺跡— 第三、四、五地区発掘調査報告—』	大和川・今池遺跡調査会	80
・『瓜生堂 近畿自動車道天理～吹田線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概要報告書』	大阪府教委 大阪文化財センター	80

和 泉

遠藤 巖 「和泉国近木庄の馬上帳と条里制の性格」『高野山領荘園の支配と構造』	巖南堂書店	77
大越 勝秋 「和泉国条里制史料集」	地人書房	78
『大園遺跡・助松地区第一次発掘調査報告書』	豊中古池遺跡調査会	79

摂 津

藤岡謙二郎 「古代の難波京城を中心とした若干の歴史地理学的考察」『織田武雄先生退官記念 人文地理学論叢』	柳原書店	71
落合 重信 「地名からみた尼崎地域（統）」『地域史研究』2-3	尼崎市史編修室	73
藤岡謙二郎 「兵庫湊と神戸」『地形図に歴史を読む』5	大明堂	73
吉本 昌弘 「摂津国河馬郡を通る計画古道と条里」『歴史地理学会会報』104	歴史地理学会	79
渡辺 久雄 「条里制と道路」『西宮あれこれ』	西宮市	79
落合 重信 「神戸の歴史 研究編」	後藤書店	80

『新修芦屋市史』 「条里制と芦屋地方の条里遺構」		71
『伊丹市史』第1巻 「伊丹地方の条里制」	渡辺久雄	71
『かわにし』川西市史Ⅰ 「川西地方の条里制」	渡辺久雄	74
『兵庫県史』第1巻 「条里」	直木孝次郎	74
『宝塚市史』第1巻 「土地に刻まれた記録」	渡辺久雄	75
『島本町史』 「条里制と遺構」	長山泰孝	75
『高槻市史』 「三島郡の条里制とその遺構」	小林健太郎	77
『摂津市史』 「摂津市域の条里遺制」	村川行弘	77
『服部遺跡』	豊中市教委	72
『高槻市安満遺跡の条里遺構』	安満遺跡調査団	73
『原田西遺跡（大阪府城） 猪名川流域原田下水処理場拡張工事に伴う調査報告—』（『豊中市文報』7）	同調査団	81

東 海 道

- 弥永 貞三 『伊勢湾岸地域の古代条里制』(伊賀・伊勢・志摩・尾張・三河 東京堂 79
谷岡 武雄 の条里制を収録)

伊 賀

- 福永 正三 「伊賀国府域の比定に関する一考察」『伊賀郷土史研究』5 伊賀郷土史研究会 72
久保 文雄 「伊賀国の条里制」『伊賀郷土史研究』7 伊賀郷土史研究会 78

- 『名張市史』 「条里制」 74
『伊賀町史』 「柘殖郷条里とその復原」 福永正三 79

- ・「北堀池遺跡発掘調査概要Ⅰ」 三重県教委 78
- ・「三重県上野市北堀池遺跡の水田址」『月刊文化財』181 吉水康夫他 第一法規 78
- ・「三重県上野市北堀池遺跡の水田」『日本考古学協会昭和53年度大会研究 日本考古学協会
発表要旨』谷本・吉水・山田・駒田 78
- ・『北堀池遺跡発掘調査概要Ⅱ』 三重県教委 79
- ・「三重県北堀池遺跡」『日本考古学年報』30 日本考古学協会 79
- ・『北堀池遺跡発掘調査概要Ⅲ』 三重県教委 80

伊 勢

- 倉田 康夫 「神郡条里制と村落の特徴」『古代国家と神宮領の展開』 東京堂 73
水田 義一 「東寺領伊勢国大國庄」『地形図に歴史を読む』5 大明堂 73
倉田 康夫 「伊勢国の条里制の研究とその問題点」『三重史学』17 三重史学会 75
倉田 康夫 「鈴鹿川沿岸条里遺構の形態から——所謂「広幅」と「沈没」
の条里について——」『三重史学』18・19合併号 三重史学会 75
倉田 康夫 「古代に於ける南勢の歴史地理的意義」『中京大学文学部紀要』 中京大学 75
9-3
倉田 康夫 「伊勢国河曲郡の条里」『空から見た歴史景観』 大明堂 76
倉田 康夫 『条里制と荘園——伊勢湾西岸地域における条里制の歴史地理
学的研究——』 東京堂 76
戸祭由美夫 「古代伊勢国菟芸郡の郡家と条里」『歴史地理学会会報』88 歴史地理学会 76
千田 稔 「伊勢地方のアガタとミヤケ」『歴史地理研究と都市研究』上 大明堂 78
高橋 学 「先史・古代における雲出川下流域平野の地形環境」『人文地 人文地理学会
理』31-2 79
倉田 康夫 「南伊勢条里制及び荘園の研究と現況——その総括と研究の為に 中京大学
——」『文学部紀要』14-3 79

- 『鈴鹿市史』第1巻 「条里制とは 鈴鹿川流域の条里・中ノ川流域の条里」 80

志 摩

- 弥永 貞三 「古代志摩国とその条里」『名古屋大学日本史論集』上 名古屋大学 75
(のち『日本古代社会経済史研究』岩波書店、80年刊に収録)

尾 張

- 水野 時二 「濃尾平野の条里」『地形図に歴史を読む』2 大明堂 70
金田 章裕 「円覚寺領尾張国富田荘」『地形図に歴史を読む』5 大明堂 73
金田 章裕 「尾張の条里と土地利用(要旨)」『人文地理』25-3 人文地理学会 73
武田 勇 『壬申乱の条里遺構』(私刊) 77

- 『尾張旭市誌』 「市内の条里遺構」 三浦昭二 71
『豊山町史』 「豊山町の条里制」 73
『小牧市史』 「条里と郡の設置・散在する条里」 77
『新編一宮市史』上 「国郡里制と条里制」 新井喜久夫 77
金田 章裕

三 河

- 上岐 健生 「西三河の条里制遺構について(要旨)」『歴史地理学会会報』75 歴史地理学会 74

- 『安城市史』 「口分田条里制」 71
『豊川市史』 「古代地割・豊川市の条里制遺構」 73
『蒲都市史』 「蒲郡の条里制」 74
『知立市史』上巻 「口分田と条里制」 76
「条里制下の畦畔の構造——愛知県宝飯郡御津町上佐脇条里制遺構発掘調査報告——」 79
『伊勢湾岸地域の古代条里制』(東京堂刊)所収 歌川 学

駿 河

- 小野 真一 「沼津・三島付近の条里遺構と駿豆」 佐々木清治先生御退職記念事業会 72
「国境」『静岡県の自然と文化』
加藤 雅功 「静岡県東部の条里遺構——三島・沼津を中心として——」『地図』12-4 日本国際地図学会 74
加藤 雅功 「静岡県東部の条里遺構について」『沼津歴史民俗資料館紀要』1 沼津歴史民俗資料館 76
・『登 呂』 日本考古学協会・毎日新聞社 49

伊 豆

- ・『韭山村山木遺跡』 静岡県韭山村 62
・『山木遺跡——第二次調査概報——』 ニュー・サイエンス社 69
・『山木遺跡第4次調査報告書』 韭山町教委 77

甲 斐

- 山本寿々雄 「甲斐国地方古代都市の復元——考古学的視角による——」 山梨県考古学会 74
——『甲斐考古』11-1
木下 良 「甲斐国府」空から見た歴史景観」 大明堂 76
須藤 賢 「甲斐条里の諸問題——甲府盆地の歴史地理的研究(第1報)」日本地理学会 76
『地理学評論』24-4
『中道町史』上巻 「条里制」 手塚寿男 78
『山梨県御坂町下成田遺跡の調査報告書』 山梨県教委・山梨県遺跡調査団 71
『甲斐国埋没条里遺構等の調査』 山梨県教委 73
『古代甲斐国の考古学調査——勝沼バイパス道路建設に伴う東八代郡一宮町 山梨県教委 74
坪井～東原における埋没条里遺構半折形と集落址——』
『甲斐国埋没条里遺構等の調査』(甲斐考古10の2号) 山梨県教委 74
『古代甲斐国の考古学調査(統編)』 山梨県教委 75

関 東

- 柴田 孝夫 「関東の条里遺構の特殊性」『日本地理学会予稿集』5 日本地理学会 73
高木 勇夫 「関東地方における河川下流域の地形面と条里について」『日本大 古今書院 75
学地理学科五十周年記念論文集』

相 模

- 中丸 和伯 「相武の開発と条里」『神奈川県歴史』 山川出版社 74
高木 勇夫 「条里制とその自然的基盤(要旨)」『歴史地理学会会報』90 歴史地理学会 77

武 蔵

- 野村 康子 「埼玉県越谷市の条里」『埼玉研究』21 埼玉県地域研究会 71
小沢 国平 「熊谷市東別府条里遺跡の発掘調査」『埼玉考古』 埼玉考古学会 71
籠瀬 良明 「荒川扇状地扇端の条里水田」『低湿地』 古今書院 72
遠藤 古次 「武蔵府中の条里」『府中市立郷土館紀要』3 府中市立郷土館 77
原島 礼二 「東松山と周辺古代——条里遺構調査を基にして——」『東松山 東松山市 78
市史編さん調査報告』13
籠瀬 良明 「浦和市大久保付近の条里水田」『日本大学文理学部自然科学研究 日本大学 78
所紀要(地理)』3

籠瀬 良明	「埼玉県荒川沿岸の条里水田とその用水源」『日本地理学会予稿集』14	日本地理学会	78
吉川 国男	「東国における条里制の施行形態について——秩父盆 滝口宏先生古稀記念地水田の遺構の復元的考察を通して——」『古代探叢』	考古学論集刊行会	80

『羽生市史』上巻	「条里制と郷土」		71
『川越市史』第1巻	「中央集権と条里制」	大護八郎	72
『越谷市史』一	「条里制の施行・越谷の条里」	大村 進	75
『妻沼町誌』	「条里制の遺構と古代の神社」		77
『吉見町史』上巻	「吉見町の条里」	金井塚良一	78
『東久留米市史』	「班田制と条里制」	岡田芳朗	79
『熊谷市史』前編	「熊谷の条里制」		80
『熊谷市東別府条里遺跡発掘調査報告書』		埼玉県遺跡調査会	71
『あたご山古墳・南河原条里遺跡』		あたご山古墳発掘調査会 南河原条里遺跡調査会	77
『埼玉県遺跡発掘調査報告書15 関越自動車道関係埋蔵文化財発掘調査』		埼玉県教委	78
『昭和52年度熊谷市埋蔵文化財調査報告 中条里遺跡調査報告』		熊谷市教委	79
『池守遺跡発掘調査概報』		行田市教委	79
・「多摩川下流の条里型水田とその自然的基盤」 『藤本利治教授還暦記念論文集』		同記念会 浅香幸雄	79
『県埋文報Ⅳ 埼玉県埋蔵文化財発掘調査要覧Ⅲ』 「児玉3号遺跡(女堀条里)」		埼玉県教委	81

安 房

『千葉県館山市条里遺構調査報告書』		館山市教委	75
-------------------	--	-------	----

上 総

『市原のあゆみ』	「人口と条里制」		73
----------	----------	--	----

常 陸

籠瀬 良明	「北浦・霞ヶ浦岸の条里水田と用水」『日本地理学会予稿集』10	日本地理学会	76
野村 康子	「常陸国桜川中・下流域の条里」『歴史地理学会会報』89	歴史地理学会	77
菊地 利夫	「常陸国金田・花室条里的水田地割遺構——逆行法による行動歴史地理学的研究——」『歴史地理学会会報』99	歴史地理学会	78
菊地 利夫	「常陸国河内金田・花室の条里的地割遺構の研究——その復原と行動的歴史地理学的考察——」『歴史人類』5	筑波大学	78
『鹿島町史』	「土地制度と条里制」	高橋丈夫	72
『下妻市史』	「下妻地方の奈良・平安時代」		79
『大野村史』	「条里制」		79

近 江

福田 徹	「高島郡の条里」『図解地理実習』	大明堂	72
福田 徹	「安曇川三角州の条里と木津庄」『地形図に歴史を読む』5	大明堂	73
福田 徹	「安曇川下流域における条里制の復元」『人文地理』26-3	人文地理学会	74
服部 昌之	「近江条里の基礎的研究(要旨)」『歴史地理学会会報』72	歴史地理学会	74
足利 健亮	「滋賀郡の条里」『F. H. G』36	I. F. H. G	74
藤岡謙二郎	「近江坂本門前町」『空から見た歴史景観』	大明堂	75
中野 栄夫	「近江同愛智荘故地における開発と灌漑」『地方史研究』138	地方史研究協議会	75
服部 昌之	「近江同野洲蒲生郡の条里」『空から見た歴史景観』	大明堂	76
大橋 信弥	「近江同坂田・東浅井郡の郡界について——坂田郡条里一条の基点をめぐって——」『近江地方史研究』5	近江地方史研究会	77
松浦 俊和	「大津市北郊にみる特殊地割について——大津京との関連性——」『近江地方史研究』6	近江地方史研究会	77
高橋 誠一 小林健太郎	「愛知川扇状地北半部の開発と条里」『滋賀大学教育学部紀要』人文・社会科学27	滋賀大学	77
福田 徹	「中世後期における村落景観——山門領木津庄を中心として——」『歴史地理研究と都市研究』上	大明堂	78
中野 栄夫	「古代における開発と灌漑」(発表要旨)『信濃』31-3	信濃史学会	79
中野 栄夫	「畿内村落の変貌」『古代の地方史』3	朝倉書店	79
高橋 誠一 小林健太郎 宮畑巳年生	「古代栗太・野洲郡の開発と条里」『滋賀大学教育学部紀要』人文・社会・教育科学29	滋賀大学	79
服部 昌之	「滋賀県条里遺構分布図」『角川日本地名大辞典』25	角川書店	79
畑井 弘	「土田庄の復元」『律令・荘園体制と農民の研究』	吉川弘文館	81
	『守山市史』 「屯倉と条里・条里制」		74
	『能登川町史』 「条里制と大化改新」		76
	『栗東町』通史編第1巻 「班田収授制と条里の名ごり」		80
・『大中の湖南遺跡調査概要』		滋賀県教委	67
『ほ場整備事業に伴う文化財調査報告』Ⅰ 「草津市吉田の条里景観遺存地区の歴史地理学的調査報告」		滋賀県教委	74
「草津市とその周辺の条里」	服部昌之		
「吉田地区の条里遺構」	足利健亮		
『ほ場整備事業に伴う文化財調査報告』Ⅱ 野洲町五之里・中主町八夫地区		滋賀県教委	75
『ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書』Ⅲ-Ⅰ 草津市観音堂遺跡		滋賀県文化財保護協会	76
『ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書』Ⅲ-Ⅱ 草津市志那中遺跡 草津市片岡遺跡・野洲町下繰子遺跡		滋賀県文化財保護協会	76
『久野部遺跡発掘調査報告書——七ノ坪地区——』		滋賀県教委・野洲町教委 滋賀県文化財保護協会	77
『ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書』Ⅳ-Ⅰ 野洲郡野洲町江部遺跡		滋賀県教委	77
『ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書』Ⅳ-Ⅱ 野洲町下繰子遺跡E・S地区		滋賀県教委	77
『ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書』Ⅴ (本文編)』		滋賀県教委	78

- ・『服部遺跡発掘調査概報』 滋賀県教委・守山市教委・滋賀県文化財保護協会 79
 ・『滋賀県服部遺跡』『日本考古学年報』31 1978年版 日本考古学協会 80

美濃

- 中野効四郎 「条里と戸籍」『岐阜県の歴史』 山川出版社 70
 水野 時二 「濃尾平野の条里」『地形図に歴史を読む』2 大明堂 70
 稲川 誠一 「鎌倉期における美濃国大井荘——新史料出現による条里・里外の改訂」『信濃』26-10 信濃史学会 74
 山川 恵弘 「相川流域の方格地割——条里地割を中心として——」『岐阜県岐阜地理学会地理』18 岐阜地理学会 79
- 『岐阜県史』通史編古代 「条里」 八賀 晋 玉井 力 71
 『真正町史』 「条里制のあと」 吉岡 勲 75
 『本巣町史』 「いまに残る条里の跡」 75
 『八百津町史』通史編 「条里制の遺構」 78
 『池田町史』通史編 「池田郡の条里」 78
 『巣南町史』 「条里遺構」 78
 『穂積町史』通史編 「条里と当町域」 79
 『岐阜市史』通史編 「岐阜市域の条里」 八賀 晋 80
 『多治見市史』通史編上 「条里の名ごり」 80
 『美濃加茂市史』通史編 「班田収授と条里制」 佐野一彦 80
 『高富町史』通史編 「三井田里と班給」 80
 『可児町史』通史編 「班田収授法と条里的遺構」 80

飛驒

- 桑原 公德 「飛驒国の条里制遺構と古代田積（要旨）」『歴史地理学会会報』76 歴史地理学会 74
 桑原 公德 「飛驒国の条里制地割と古代の田積——古代以降の開発過程とその地域におよぶ——」『花園大学研究紀要』7 花園大学 76

信濃

- 塚田 正明 「地下に埋もれた条里遺構」『長野県の歴史』 山川出版社 74
 中村 哲夫 「条里制遺構を考える」『須高』3 75
 高野 豊文 「長野県小県郡丸子町依田地区条里的遺構の総合調査概要」 信濃史学会 76
 黒坂 周平 『信濃』28-10
 小穴 喜一
 高野 豊文 「長野市北堀の条里的地割」『長野』72 長野郷土史研究会 77
 高野 豊文 「微地形から歴史を読む——特に水田開発を中心に——」 歴史地理学会 78
 『歴史地理学会会報』96
 小穴 喜一 「土と水から歴史を探る——安曇野中央部の集落開発——」 信濃史学会 78
 『信濃』30-10

小穴 喜一	「土と水から歴史を探る 安曇野中央部の集落開発」(発表要旨) 『信濃』31-3	信濃史学会	79
高野 豊文	「信濃国府跡を中心とした神科台地の微地形史的研究」 『信濃』31-5	信濃史学会	79
小穴 喜一	「信濃国府跡を中心とした神科台地の開発」 『信濃』31-5	信濃史学会	79
降幡由起子	「信濃における地形と条里」 『人文地理』31-6	人文地理学会	79

『条里遺構分布調査概報 — 染屋台地区 — 』		上田市教委	73
『条里遺構分布調査概報 — 国分・常田地区・常和城・秋和地区・千田川南西地区 — 』		上田市教委	74
・「水田開発及び集落発生の形態的研究」 『信濃』26-10	小穴喜一	信濃史学会	74
『条里遺構分布調査概報 — 塩田地区 — 』		上田市教委	75
『長野県小泉郡丸子町依田地区条里的遺構の総合調整概報』 『信濃』28-10		信濃史学会	76
『条里的遺構分布総合調査概報(丸子条里)』		丸子町教委	77

上 野

峰岸 純夫	「条里のなごり」 『群馬県の歴史』	山川出版社	74
鬼形 芳夫	「大八木条里制遺跡」 『まえあし』22		76
田島 桂男	「大八木条里制遺跡」 『群馬県百科事典』	上毛新聞社	79

『前橋市史』第1巻	「条里制と住民」	尾崎喜左雄	71
『中之条町誌』第1巻	「条里制」	唐沢定市	76
『近代足利市史』第1巻	「足利における条里制遺構」	峰岸純夫	77

・「高崎市井野川遺跡 — 小規模川井野川改修工事に伴う埋蔵文化財発掘調査概報 — 』		群馬県教委	70
・「上越新幹線地域埋蔵文化財発掘調査概報Ⅰ」		群馬県教委	73
『上越新幹線地域埋蔵文化財発掘調査概報Ⅱ』		群馬県教委	75
・「上武国道地域埋蔵文化財発掘調査概報Ⅲ 歌舞伎及遺跡」		群馬県教委	76
「上野国大八木条里制遺跡」	『日本考古学協会昭和52年度総会 研究発表要旨』 鬼形・田島	日本考古学協会	77
・「関越自動車道(新潟線)地域埋蔵文化財発掘調査概報Ⅳ 日高遺跡」		群馬県教委	78
・「群馬県高崎市日高遺跡における弥生水田址、墓址群の調査」	『日本考古学協会昭和52年度総会 研究発表要旨』 松本・平野・大江	日本考古学協会	78
・「群馬県下における水田址の調査」	『月刊文化財』181 森田秀策	第一法規	78
・「高崎市日高遺跡の水田址」	『月刊文化財』181 平野進一ほか	第一法規	78
・「高崎市熊野堂遺跡の水田址」	『月刊文化財』181 細野雅男	第一法規	78
・「群馬県高崎市日高遺跡の調査」	『考古学ジャーナル』152 ニュー・サイエンス社 平野進一ほか		78
・「群馬県高崎市新保遺跡の調査」	『考古学ジャーナル』154 ニュー・サイエンス社 佐藤明人ほか		78
・「群馬県高崎市新保遺跡の水田」	『日本考古学協会昭和53年度大会 研究発表要旨』 松本・佐藤・平野	日本考古学協会	78

- ・『群馬県日高遺跡（特に弥生水田に ついて）』 『日本考古学年報』30 平野進一 日本考古学協会 79
- ・『高崎市文化財調査報告書第6集 元島名遺跡 ― 圃場整備事業に伴う元島名遺跡群の調査報告(2) ―』 高崎市教委 79
- ・『高崎市文化財調査報告書第7集 矢島遺跡 御布呂遺跡 ― 圃場整備事業に伴う浜川遺跡群の調査報告(1) ―』 高崎市教委 79
- ・『高崎市文化財調査報告書第8集 小八木遺跡調査報告書(1) ― 圃場整備に伴う埋蔵文化財調査 ―』 高崎市教委 79
- ・『高崎市文化財調査報告書第9集 芦田貝戸遺跡 ― 高崎市立女子高校建設に伴う調査報告(1) ―』 高崎市教委 79
- ・『高崎市文化財調査報告書第10集 日高遺跡(1)遺跡範囲確認調査』 高崎市教委 79
- ・『高崎市文化財調査報告書第12集 大八木水田遺跡 ― 高崎市北部第三地区土地区画整理事業に伴う調査報告 ―』 高崎市教委 79
- ・『高崎市文化財調査報告書第13集 寺ノ内遺跡 ― 圃場整備に伴う浜川遺跡群の調査概報(2) ―』 高崎市教委 79
- ・『関越自動車道（新潟線）地域埋蔵文化財発掘調査概報Ⅴ 新保遺跡 日高遺跡』 群馬県教委 79
- ・『高崎市文化財調査報告書第14集 正観寺遺跡群Ⅱ』 高崎市教委 80
- ・『高崎市文化財調査報告書第15集 小八木遺跡Ⅱ 小八木地区土地改良事業に伴う発掘調査』 高崎市教委 80
- ・『高崎市文化財調査報告書第17集 日高遺跡Ⅱ ― B 軽石埋没水田址の調査 昭和54年度圃場整備事業に伴う発掘調査』 高崎市教委 80
- ・『高崎市文化財調査報告書第18集 御布呂遺跡 浜川運動公園建設に伴う古代水田址の調査概報』 高崎市教委 80
- ・『高崎市文化財調査報告書第19集 芦田貝戸遺跡 火山灰に埋没した古代水田址と畝状遺構の調査概報』 高崎市教委 80
- ・『小野地区遺構群 ― 平安時代水田址と住居 ―』 藤岡市教委 80
- ・『新発見の考古資料 ― 発掘された古代の水田』（1980. 7. 19～8. 31. カタログ） 群馬県立歴史博物館 80

下 野

- 日下部高明 「足利における条里遺構について」『足利市史研究』3 足利市史編纂委員会 74
- 日下部高明 「足利市における条里遺構について」『地理学評論』48-2 日本地理学会 75
- 岡田 隆夫 「下野の条里について」『県史だより』第32号 栃木県 76
- 日下部高明 「足利地方の条里遺構の考察 ― 東山道筋条里の解明へ ―」 名著出版『歴史手帳』6-4 78
- 塙 静夫 「雀宮車部の条里遺構」『宇都宮市史』第1巻原始古代編 79
- 『栃木県史』通史編2 「条里と交通」 岡田隆夫 80

奥 羽

- 柏倉 亮吉 「東北地方の条里制遺構」『山形史学研究』7 山教史学会 71
- 山田 安彦 『古代東北のフロンティア』 古今書院 76
- 福田 徹 「書評：山田安彦著『古代東北のフロンティア』」『歴史地理 歴史地理学会会報』88 歴史地理学会 76

神 英雄 「東北地方の条里制に関する一考察」『竜谷史壇』78 竜谷大学史学会 80

陸 奥

小林 清治	「条里の遺構」『福島県の歴史』	山川出版社	70
大塚 一	「今新田の条里制遺構」『いわき地方史研究』8	いわき地方史研究会	71
佐藤堅治郎	「福島県における条里制の諸問題」第14回福島県考古学大会資料	福島県考古学会	72
山田 安彦	「仙北地域における条里地割の存在に関する若干の問題」(例会要旨)『東北地理』24-3	東北地理学会	72
安田 喜憲	「仙台平野における自然堤防の形成期について」『日本地理学会予稿集』3	日本地理学会	72
菊地 利雄	「私の研究——奥州森山村——」『郷土の研究』5	国見町郷土史研究会	75
鈴木 貞夫	「いわき市の条里制遺構の復元について」『いわき地方史研究』12	いわき地方史研究会	75
鈴木 貞夫	「いわき市の条里制遺構の分布」『福島地理論集』18		75
鈴木 貞夫	「双葉海岸の海岸侵蝕による集落移動と条里制遺構」『福島地理論集』19		76
神 英雄	「条里制の施行地域の北限をめぐって——建郡時期からの一考察」『竜谷大学国史学研究』2	竜谷大学	76
鈴木 貞夫	「福島県浜通り中北部の条里制型地割の分布」(演旨)『東北地理』30-3	東北地理学会	78
鈴木 貞夫	「伊達西部条里遺構」『福島県考古学年報』8	福島県考古学会	78
神 英雄	「仙台平野における条里制について」(例会要旨)『人文地理』31-3	人文地理学会	79
山崎 四郎	「尾野本条里遺構」『福島県考古学年報』9	福島県考古学会	80
『福島県史』1 原始・古代・中世	「律令体制下の福島県」	佐藤堅治郎	69
『福島市史』第1巻	「条里制と須恵器工人群」	佐藤堅治郎	70
『国見町史』2		梅宮 茂他	73
『矢本町史』第1巻	「条里の問題」	三宅宗議	73
『小野田町史』	「加美郡の寺院と城柵」	米川 今一	74
『郡山市史』1	「条里制と古代の交通路」	梅宮 茂	75
『国見町史』1	「条里とむら」	菊地利雄	77
『図説福島市史』	「条里制遺構」	梅宮 茂	78
『白石市史』1 通史編	「刈田建郡」	巨理悟郎	79
『会津坂下町史』川	「条里制から荘園」	庄司吉之助	79
『河東町史』上巻	「土地制度と農民の生活」		79
『福島県文化財調査報告書第59集	伊達西部条里遺構発掘調査概報Ⅰ』	福島県教委	77
『福島県文化財調査報告書第64集	伊達西部条里遺構発掘調査概報Ⅱ』	福島県教委	78
『福島県文化財調査報告書第70集	伊達西部条里遺構発掘調査概報Ⅲ』	福島県教委	79
『県埋文報第49集 細越遺跡』		青森県教委	79
『福島県文化財調査報告書第82集	伊達西部地区遺跡発掘調査報告Ⅳ』	福島県教委	80

『大熊町文化財調査報告第1集 熊川六丁目条里遺構発掘調査報告』	大熊町教委	80
「尾野本条里遺構」『福島県考古学年報』9 山崎四郎	福島県考古学会	80
「伊達西部条里遺構Ⅴ— 森山条里」 『福島県文報』93	福島県教委	81

出 羽

菅田 慶恩 「条里制のあと」『山形県の歴史』	山川出版社	70
保角 里志 「出羽国古代村山郡における考古学的研究— とくに東根市本郷 条里遺構を中心として—」『山大史学』5	山形大学	76
川崎利夫他 「山形県山辺町南部条里遺構」『日本考古学年報』30	日本考古学協会	77
『高島町史』上巻 「条里制」		72
『白鷹町史』上巻 「律令制」		77
『天童市史』別巻上 「天童市内の条里制遺構」	川崎利夫	78
『上山市史』上巻 「条里制」	柏倉亮吉	80
『五城目町史』 「柵戸と班田」		80
『東根市西北平坦部の遺跡群— 古墳から条里へ—』	山形県文化財保護協会	73
『山形県埋蔵文化財調査報告書第6集 大曾根遺跡』 (昭和48・49年度山形県営農林事業関係遺跡)	山形県教委	76
「山形県山辺町南部条里遺構」『日本考古学年報』30 山崎利夫・佐藤庄一	日本考古学協会	79
『山形県埋蔵文化財調査報告書22 山辺条里遺構発掘調査報告書』	山形県教委	79
・『新田目B遺跡』	酒田市教委	80

北 陸 道

金田 章裕 「東大寺領庄園の景観と開発」『古代の地方史』4	朝倉書店	78
-------------------------------	------	----

若 狭

田中 完一 「敦賀・若狭の条里」『自然と社会』43	石川地学地理学会	77
田中 完一 「旧丹生郡の条里」『研究集録』14	県立敦賀高校	78

越 前

上田 洋行 「山間盆地の地形面と条里に関する歴史地理学的研究」『地理学評論』41-11	日本地理学会	68
斉藤 優 「糞置庄と越前の条里」『太田山古墳群と糞置庄』	福井県郷土史懇談会	76
真柄 甚松 「中野町条里について」『鯖江史壇』2	鯖江史談会	77
真柄 甚松 「古代における越前の国府とその周辺の景観」『歴史地理研究と都市研究』上	大明堂	78
『芦原町史』 「条里制の展開」	重松明久	73
『足羽町史』 「条里制度と糞置荘」		76

『清水町史』	「東大寺の荘園」		78
『北陸自動車道関係遺跡調査報告書第8集 糞置庄と越前の条里』		福井県教委	76
加 賀			
『宇ノ気町史』	「条里制の村と生活」	高堀勝喜	70
能 登			
『七尾市史』	「条里制跡」	浜岡賢太郎	74
越 中			
多賀 有志	「越中と越後における条里制の比較考察」『学叢』	高岡第一学園	73
石原 与作	「越中府新川郡条里の歴史地理学的研究」『歴史地理学会会報』72	歴史地理学会	74
『井波町史』上巻	「班田制と条里制」		70
『上市町史』	「条里制」		70
『小矢部市史』上巻	「条里制 律令時代の土地開発」		71
『福光町史』上巻	「条里制と東大寺荘園」	武田吉三郎	71
『富山県史』通史編Ⅰ 原始・古代	「条里制」	高瀬重雄	76
『足立町史』上巻	「古代の荘園と条里」	石原与作	77
越 後			
井上 慶隆	「越後の条里制と石井荘の位置」『かみくひむし』11	かみくひむしの会	73
多賀 有志	「越中と越後における条里制の比較考察」『学叢』	高岡第一学園	73
野間 晴雄	「稲作技術からみた蒲原平野の開発過程」『農耕の技術』3	農耕の技術研究会	80
『新井市史』上	「条里制と地名」		73
『糸魚川市史』	「条里制／遺構」		76
『真野町史』上巻	「水田の整備」		76
佐 渡			
桑原 公德 金田 章裕	「佐渡の条里」『佐渡の歴史地理』	古今書院	71
『竹田沖条里』	新潟県佐渡郡竹田沖条里緊急発掘調査概報Ⅰ』	真野町教委・畑野町教委	77
『竹田沖条里』	新潟県佐渡郡竹田沖条里緊急発掘調査概報Ⅱ』	真野町教委・畑野町教委	78

丹 波

『兵庫県史』第1巻	「条里」	直木孝次郎	74
『福知山市史』第1巻	「条里制の遺構」		76
『綾部市史』上巻	「条里制と綾中廃寺」	前田良一	76
「国道9号バイパス関係遺跡 昭和54年度発掘調査概要 『埋蔵文化財発掘調査概報』1980 第1分冊	千代川遺構」	京都府教委	80

但 馬

桑原 公德 山田 安彦	「但馬豊岡盆地の条里と地籍図」	『歴史地理学会会報』87	歴史地理学会	76
桑原 公德	「条里の研究と地籍図 — 但馬豊岡盆地の条里を例に —」	『地籍図』	学 生 社	76
『八鹿町史』	「条里制」			71
『兵庫県史』第1巻	「条里」	直木孝次郎		74
『日高町史』	「条里化された農地」	石田松蔵		76
『豊岡市史』上巻	「豊岡盆地の条里制」	瀬戸谷皓		81
『八鹿町の条里 — 八鹿町八木における試掘調査概要 —』			八鹿町教委	77
『豊岡市文報第7集 豊岡市立郷土資料館調査報告第7集 宮井条里遺跡・宮井地区ほ場整備に伴う緊急調査』			豊岡市教委・宮井 条里制遺跡発掘調査団	77

因 伯

戸祭由美夫	「鳥取平野の『条里』地割 — 岩永説の再検討 —」	『歴史地理学』(歴史地理学会誌) 110	歴史地理学会	80
-------	---------------------------	----------------------	--------	----

因 幡

中林 保	「因幡国気多郡の条里と郡家 — 歴史地理学的試論 —」	『地方史研究』138	地方史研究協議会	75
中林 保	「因幡国気多郡の条里と郡家 — 歴史地理学的試論 —」	『地理学評論』48-2	日本地理学会	75
『鳥取県史』1. 原始古代	「条里制とその遺構」		岩永 実	72
『気高町誌』	「気高郡の条里と郡家」			77
『因幡国府遺跡発掘調査報告書Ⅱ 大権寺遺跡』			鳥取県教委	73
『鳥取都市計画事業千代水土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査』			岩吉遺跡調査会	76
『因幡国府遺跡発掘調査報告書Ⅵ ・『秋里遺跡Ⅲ』			鳥取県教委	78 79

伯 耆

中村佐太郎	「天神川流域平野の開発に関する歴史地理学的研究」『人文地理』23-2	人文地理学会	71
中村佐太郎	「田野川下流域平野の地形と条里制遺構」『人文地理』30-1	人文地理学会	78
中村佐太郎	「天神川および日野川下流域における条里制と古代空間」『地表空間の組織』	立命館大学文学部地理学教室 立命館大学地理学同好会	81
『東伯町誌』	「班田収授法と条里制遺構」		68
『北条町誌』			71
『鳥取県史』	1. 原始、古代「条里制とその遺構」	岩永 実	72
『倉吉市史』	「条里制とその遺構」		73
『淀江条里遺構地域緊急調査報告書（鳥取県西伯郡）』	岩永実他	淀江町教委	76
『淀江の条里 鳥取県淀江町圃場整備についての遺跡調査概要』		淀江町教委	79

出 雲

中林 保	「駅家を中心とした古代山陰道の歴史地理学的考察——特に出雲・石見の二国について——」『人文地理』24-2	人文地理学会	72
中沢 四郎	「条里遺構」『八雲立つ風土記の丘周辺の文化財』	島根県教委	75
・『国道9号線バイパス建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅲ』		島根県教委	81

石 見

中林 保	「駅家を中心とした古代山陰道の歴史地理学的考察——特に出雲・石見の二国について——」『人文地理』24-2	人文地理学会	72
『仁摩町誌』	「仁万平野の条里制」		72
『益田市誌』上巻	「県下の条里制 益田市の条里制」	中林 保	75

隠 岐

田中 豊治	「隠岐の条里制」『隠岐島の歴史地理学的研究』	古今書院	79
『西郷町誌』	「条里制」		75
『八尾川流域条里遺跡調査概報』		隠岐島町教委	78

播 磨

服部 昌之	「東寺領播磨国矢野庄」『地形図に歴史を読む』5	大明堂	73
-------	-------------------------	-----	----

渡辺 久雄	「宍粟郡遺跡の地理的環境と条里遺構」『中国縦貫自動車道建設に伴う埋蔵文化財調査報告書』	兵庫県教委	74
服部 昌之	「播磨条里研究の補遺」『F. H. G.』38	I. F. H. G	74
金田 章裕	「播磨国法隆寺領鶴荘」『空から見た歴史景観』	大明堂	76
木下 良	「播磨における山陽道（大宰府道）古代駅路」『日本地理学会予稿集』11	日本地理学会	76
谷岡 武雄	「古代の開拓と聖徳太子」『聖徳太子の榜示石』	学生社	76
高橋美久	「播磨国賀古駅家について」『歴史地理研究と都市研究』上	大明堂	79
『三木市史』	「条里制遺構の分布」	服部昌之	70
『兵庫県史』第1巻	「条里」	直木孝次郎	74
『佐用町史』上	「沖田（佐用）平野の条里開拓」		75
『山崎町史』	「条里制と山崎」		77
『竜野市史』上巻	「条里制とその遺構」	石田善人	78
	「竜野市域の条里」	渡辺久雄	
『川島・立岡遺跡』		太子町教委	71
吉 備			
谷口 澄夫	「吉備地方の条里制」『岡山県の歴史』	山川出版社	70
足利 健亮	「吉備地方における古代山陽道 覚え書き」『歴史地理学会紀要』16	歴史地理学会	74
高重 進	「条里耕地と田積」『岡山県の地理』	福武書店	78
美 作			
中林 保	「古代美作国の郡家と交通路」『人文地理』27-4	人文地理学会	75
『久世町史』	「条里と土地開発」	高重 進	75
備 前			
中野 栄夫	「備前国香登荘故地およびその周辺における開発と水利」『信濃』31-12	信濃史学会	79
『玉野市史』	「班田収授と条里制」		70
『上道町史』	「草ヶ部の条里遺跡」	巖津政右衛門	73
『佐伯町史』	「郷土と条里遺構」	福力勝治	75
・『岡山県津島遺構調査概要』		岡山県津島遺跡発掘調査団	68
・『昭和44年岡山県津島遺跡調査概報』		昭和44年津島遺跡調査団	69
・「津島遺跡の弥生前期水田の問題」『考古学研究』15-4	間壁忠彦	考古学研究会	69

- ・「岡山県津島遺跡における弥生時代の灌漑水利用水田の存在について」 『考古学研究』16-4 松井 健 考古学研究会 70
- ・「岡山県埋蔵文化財報告8 百間川遺跡第一次調査概報 ― 旭川放水路改修 岡山県教委 工事に伴う ―」 岡山県教委 77
- ・「岡山県埋蔵文化財発掘調査報告25 山陽自動車道建設に伴う発掘調査Ⅰ」 岡山県教委 78
- ・「岡山市百間川遺跡の水田址」 『月刊文化財』181 正岡睦夫他 第一法規 78
- ・「岡山市百間川遺跡の水田」 『日本考古学協会昭和53年度大会 日本考古学協会研究発表要旨』 行本・葛原・正岡 78
- ・「岡山県百間川遺跡第2微高地の水田遺構」 『日本考古学年報』30 江見正巳 日本考古学協会 79
- ・「岡山県西大寺一宮育苗公園遺跡」 『日本考古学年報』30 根本 修 日本考古学協会 79
- ・「岡山県埋蔵文化財報告9 百間川遺跡」 岡山県教委 79

備 中

- 日野 尚志 「備中司小田郡家について」 『東北地理』25-1 東北地理学会 73
- 高重 進 「備中の異称条里」 『歴史手帳』2-2 名著出版 74
- 『昭和町史』 「日羽の条里制遺跡」 大月雄太郎 70
- 『倉敷市史』第1冊 「条里制の施行」 永山卯三郎（復刻再刊） 73
- 『大佐町史』上巻 「刑部郷と条里制」 79

備 後

- 後藤 陽一 「条里制下の農民」 『広島県の歴史』 山川出版社 72
- 松下 正司 「神辺方八町（推定備後国府跡）の調査」 『調査ニュース』草）千軒町調査事務所 74
- 谷岡 武雄 「芦田川流域の空間組織に関する歴史地理学的研究」 『立命館文学』427. 428. 429合併号 立命館大学 81
- 福田 徹 「芦田川中・下流域における条里制の遺構」 『立命館文学』427. 428. 429 合併号 立命館大学 81
- 『神辺町史』前巻 「条里制」 高垣敏男 72
- 『三原市史』第1巻 「条里制の地割」 福尾猛市郎 77
- 『広島県史』原始古代通史一 「条里制の分布」 米倉 二郎 80

安 芸

- 後藤 陽一 「条里制下の農民」 『広島県の歴史』 山川出版社 72
- 佐々木卓也 「古代安芸における地方官衙の復元 ― 佐伯・安芸両郡を事例として ―」 『地理科学』29 地理科学学会 78
- 『可部町史』 「条里制」 藤井 昭 76
- 『佐東町史』 「条里制と農民の生活」 福谷昭二 80

『広島県史』原始古代通史一 「条里制の分布」 米倉二郎 80

周 防

三浦 肇 「条里制の遺構」『山口郷土読本』 山口市教委 70
 足利 健亮 「周防国府」『空から見た歴史景観』 大明堂 76
 山本 一郎 「末武条里の問題点」『山口県地方史研究』40 山口県地方史学会 78

『玖珂町誌』 「玖珂町における条里制の遺構」 72

『光市史』 「熊毛七郷」 布引敏雄 75

『周東町史』 「周東町域の条里制遺構」 国守 進 79

『湯田楠木町遺跡第Ⅰ地区発掘調査概報』 山口市教委 75

『湯田楠木町遺跡第Ⅱ地区発掘調査概報（山口市埋文報5）』 山口市教委 76

『山口県埋蔵文化財調査報告第53集 山陽自動車道防府バイパス 山口県教委 80
 下右田遺跡第4次調査概報・総括』 日本道路公団・建設省山口工事事務所

長 門

『豊田町史』 「条里制区画」 79

南 海 道

日野 尚志 「南海道の駅路——阿波・讃岐・伊予・土佐の場合——」 歴史地理学会 78
 『歴史地理学会紀要』20

淡 路

『兵庫県史』第1巻 「条里」 直木孝次郎 74

『三原郡史』 「条里制と班田収授」 79

・『淡路 志知川沖田南遺跡——昭和55年度発掘調査略報——』 兵庫県教委 80

紀 伊

三坂 広介 「歴史時代における日高川下流平野の発達」『立命館文学』 立命館大学 72

中野 栄治 「紀の川中流域の条里と古代景観」『人文地理』38-3 人文地理学会 76

中野 栄治 「古代紀伊国日高郡の条里と郡家」『歴史地理学会会報』94 歴史地理学会 77

中野 栄治 「紀の川上流の条里景観」『和歌山県高等学校社会科研究会 和歌山県高等学校社会科研究会 77
 校社会科研究会』30

中野 栄治 「紀伊半島南部の条里制」『地表空間の組織』 立命館大学文学部地理学教室 81
 立命館大学地理学同好会

『橋本市史』	「古代の土地制度」		74
『かつらぎ町の歴史』	「伊都郡における条里計画」	中野栄治	78
『古備町誌』上巻	「古備町における条里制の痕跡」		80
阿 波			
藤田九十九	「那賀川平野中部の条里についての私見」	『ふるさと阿波』94	阿波郷土会 78
『阿波町史』	「日分田と条里制」		79
讃 岐			
香川大学 地理学教室	「条里と荘園」	『香川の地理』	香川大学教育学部地理学教室 72
井上 勝之	『文献にあらわれた条里関係地名』(私刊)		75
金田 章裕	「讃岐国曼茶羅寺と寺領」	『空から見た歴史景観』	大明堂 76
日野 尚志	「讃岐国刈田郡における官道(南海道)と条里・郷との関連 について」	『東北地理』28-3	東北地理学会 76
出石 一雄	「讃岐の古代中心地域における条里と国府」	『新地理』	日本地理教育研究会 76 24-1
『香川町史』	「条里制と遺跡」		70
『志度町史』	「条里の制」	松浦正一	70
『新修丸亀市史』	「班田制と条里の遺跡」		71
『牟礼町史』	「班田条里の制」		72
『高瀬町史』	「条里の制」		75
『綾歌町史』	「班田制と条里の遺構」		76
『善通寺市史』第1巻	「那珂郡・多度郡の条里」		77
『大川町史』	「条里制とその遺跡」		78
『豊中町誌』	「身分制と田制」		79
『三野町誌』	「条里の制」		80
伊 予			
田中 歳雄	「伊予の国府と太政官道」	『愛媛県の歴史』	山川出版社 73
木下 良 片山才一郎	「古代都市としての国府——伊予国府と位置——」	『今治史談』12	今治史談会 77
三宅千代三	「古文書に見える条里制・条里制と国府及び郡衛 の郷・里・荘・名と市・町・村」	『愛媛県』	愛媛出版協会 79
『保内町誌』	「条里制」		73
『宇和町誌』	「条里制」		76
『周布村誌』	「条里制」		78

『松前町誌』 「条里制」 79

土 佐

大脇 保彦 「土佐における条里遺構研究上の二、三の問題について」 土佐史談会 73
『土佐史談』136

大脇 保彦 「高知県香長平野における条里型地割分布について」『歴史地理 大明堂 78
研究と都市研究』上

『高知県史』古代・中世論 「国府と条里」 山本 大 71

『伊野町史』 「律令制下の伊野の人びと」 横川末吉 73

『安芸市史』概説論 「安芸八郷と条里制」 平尾道雄 76

『南国市史』上巻 「条里」 島田豊寿 79

西 海 道

桑原 公德 「古代における西海道の開発について」『花園大学研究紀要』4 花園大学 73

木下 良 「『車路』考— 西海道における古代官道の復原に関連して—」大明堂 78
『歴史地理研究と都市研究』上

筑 前

鏡山 猛 「筑紫地方の条里」『九州考古学論考』 吉川弘文館 72

佐藤鉄太郎 「福岡平野の条里」『九州史学』51 九州史学会 73

千田 稔 「那ノ津と官家」『地形図に歴史を読む』5 大明堂 73

日野 尚志 「古代における大宰府周辺の官道について」『歴史地理学会 歴史地理学会 74
紀要』16

日野 尚志 「筑後川右岸における条里について— 筑前国夜須・上座・下座 佐賀大学 75
三郡・筑後国夜原・御井（一部）二郡の場合—」
『佐賀大学教育学部研究論文集』23

日野 尚志 「筑前国那珂・席田・柏屋・御笠四郡における条里について」 佐賀大学 76
『佐賀大学教育学部研究論文集』24(1)

『三輪町史』 「条里制の遺構」 70

『直方市史』上巻 「班田収授法」 71

『稲築町誌』 「大化改新と条里制」 73

『鞍手町誌』上巻 「班田収授と条里制」 74

『飯塚市史』 「条里制度」 75

『宮田町誌』上巻 「班田収授法と条里制」 大曲秀吉 78

『福岡市埋蔵文化財調査報告書第20集 多々良遺跡調査報告書』 福岡市教委 71

『福岡市埋蔵文化財調査報告書第23集 福岡市西区大字山門下山門遺跡』 福岡市教委 73

・『福岡県板付水田遺跡』『日本考古学年報』24 日本考古学協会 73

『福岡市埋蔵文化財調査報告書第32集 山陽新幹線関係埋蔵文化財調査報告』福岡市教委 75
多々良・津島地区の遺跡

『山陽新幹線関係埋蔵文化財調査報告第1集 若宮条里遺構の調査』	福岡県教委	76
・『福岡市埋蔵文化財調査報告書第35集 板付——市営住宅建設に伴う発掘調査報告——』	福岡市教委	76
・『福岡市埋蔵文化財調査報告書第42集 福岡市西区四箇周辺遺跡調査報告書』	福岡市教委	77
『今宿バイパス関係埋蔵文化調査報告第5集 糸島平野の条里遺構の調査』	福岡県教委	77
・『板付遺跡』	福岡市教委	78
・『福岡県板付遺跡の縄文時代水田址』月刊文化財 181 山崎純男	第一法規	78
・『最古の水田——福岡市板付遺跡の調査』ふるさと自然と歴史 81 山崎純男		78
・『福岡県板付遺跡の水田』日本考古学協会昭和53年度大会研究発表要旨 山崎純男	日本考古学協会	78
・『福岡市埋蔵文化財調査報告書第49集 板付遺跡調査概要（板付周辺遺跡調査報告書(5)1977～8年度）』	福岡市教委	79
『福岡市埋蔵文化財調査報告書第53集 多々良込田遺跡Ⅱ』	福岡市教委	80

筑 後

日野 尚志 『旧山本郡の条里——福岡県久留米市山本町・善導寺町 久留米市開発公社に所在する条里 調査報告——』		74
日野 尚志 「筑後上妻・下妻・山門・三毛四郡における条里について」佐賀大学教育学部研究論文集 26 (Ⅰ)	佐賀大学	78
日野 尚志 「筑後国御井（筑後川左岸）・三渚二郡の条里について」佐賀大学教育学部研究論文集 27 (Ⅱ)	佐賀大学	79
『瀬高町誌』 「瀬高の条里」		74
『大川市誌』 「筑後における条里制の施行」 甲木 清		77
『目で見る久留米の歴史』「条里制」		79
『昭和54年度東部土地区画整理事業関係埋蔵文化財調査概要』	久留米市教委	80

豊 前

日野 尚志 「豊前国京都・仲津・筑城・上毛四郡における条里について」佐賀大学教育学部研究論文集 22	佐賀大学	74
木下 良 「空中写真に認められる想定駅路」『びぞん』64	美術文化研究会	76
日野 尚志 「豊前国田河・企球・下毛・宇佐四郡における条里について」佐賀大学教育学部研究論文集 25 (Ⅰ)	佐賀大学	77
戸祭由美夫 「豊前国府考」『歴史地理研究と都市研究』上	大明堂	78
『柳ヶ浦町誌』 「条里制遺構」 中野幡能		70
『安心院町誌』 「宇佐十郷と条里制遺構」 大隅 亘		70
『田川市史』上巻 「田川の条里制と遺構」 恵良 宏		74
『宇佐市史』上巻 「条里制とその遺構」 河野房夫		75
『大分県の歴史』(2) 「条里制」 兼子俊一		77

肥 前

高橋 誠一	「おつぼ山神籠石」『空から見た歴史景観』	大明堂	75
原口 静雄	「条里地名と横枕——伊万里市地名考——」『烏ん枕』18		76
服部 英雄	「肥前国長嶋庄の開発主体——条里制耕地の復原と変遷——」『史学雑誌』88-6	史学会	79
日野 尚志	「肥前の条里」『F.H.G.』57	I.F.H.G.	79
『佐賀県史』古代	「郡郷と条里制」	米倉二郎	68
『有明町史』第3巻古代	「条里の村」	木原茂徳	69
『武雄市史』	「条里制」	七田忠志	72
『佐賀県の歴史』原始・古代	「条里制」	城東正祥・杉谷 昭	72
『長崎県の歴史』原始・古代	「条里と駅」	瀬野精一郎	72
『鳥栖市史』	「鳥栖地方の条里制」	木下之治	73
『小城町史』	「条里制」	木下 巧	74
『芦刈町史』	「律令時代の開発と条里制」	千手正美	74
『ふるさとの歴史——小城の歴史と文化——』『条里の制と四十八ヶ里』		木下 巧	76
『いまりの歴史散歩』	「伊万里の条里田」	原口静雄	76
『佐賀市史』第1巻	「条里遺構」	千手正美	77
	「条里制」	木下之治	
『川副町誌』	「条里制の実施」	福岡 清	79
『上峰村史』	「条里制」	米倉二郎	79

肥 後

規工川宏輔	「熊本県内における条里型地割の分布と圃場整備に伴う改変について」『日本地理学会予稿集』9	日本地理学会	75
江島 渡	「熊本県八代郡宮原地域にある条里制遺構と地名考」『夜豆志呂』50	八代史談会	78
服部 英雄	「空から見た人吉庄・交通と新田開発」『史学雑誌』87-8	史学会	78
規工川宏輔	「熊本県菊池川中流域における条里地割と耕地整備に伴う改変について」『熊本大学教育学部紀要』27	熊本大学	78
『飽田町史』	「肥後の条里制」	坂本経堯	72
『新 熊本の歴史』第2巻古代(下)	「条里制とその復原」	松本雅明	熊本日日新聞79
『熊本の上代遺跡——熊本の風土とところどころ第2集——』18	「条里制」	田辺哲夫	80
『熊本県文化財調査報告25 熊本県の条里』		熊本県教委	77

日 向

籠瀬 良明	「宮崎平野の古代水田」『自然堤防』	古今書院	75
籠瀬 良明	「宮崎平野の古代水田(要旨)」『歴史地理学会会報』77	歴史地理学会	75

豊 後

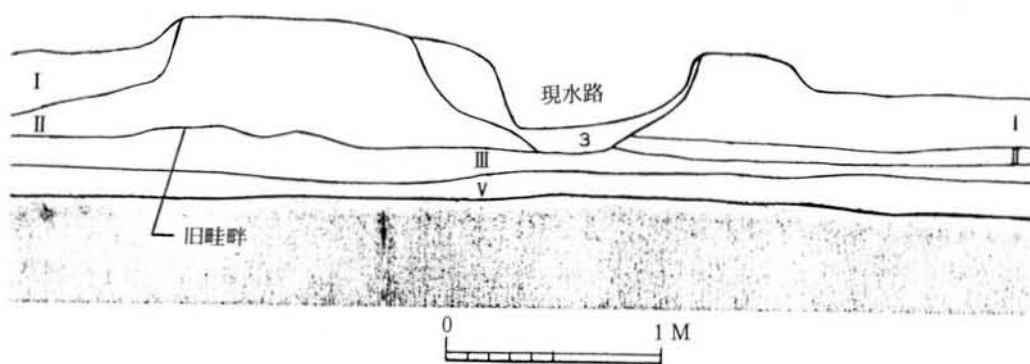
賀川 光夫 「伽藍と条里」『大分県の考古学』		吉川弘文館	71
『国東町史』	「条里遺構」		73
『大分県の歴史』(2)	「条里制」	兼子俊一	77
『真玉町誌』	「条里の遺構」	泉 哲三	78
『古国府羽屋地区条里跡所在市立豊府小学校建設地緊急発掘調査概報』		大分市教委	73

薩 摩

『川内市史』上巻	「川内市内条里の一部復元」	藤井重寿	76
----------	---------------	------	----

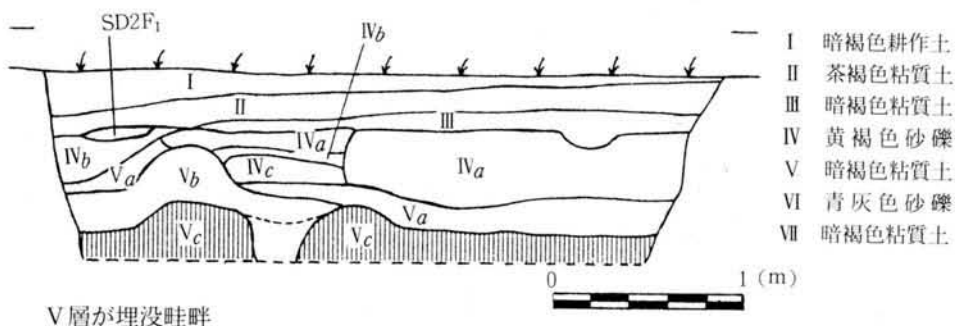
三、発掘された条里遺構の例

熊 川 六 丁 目 条 里 遺 構 (福 島 県)



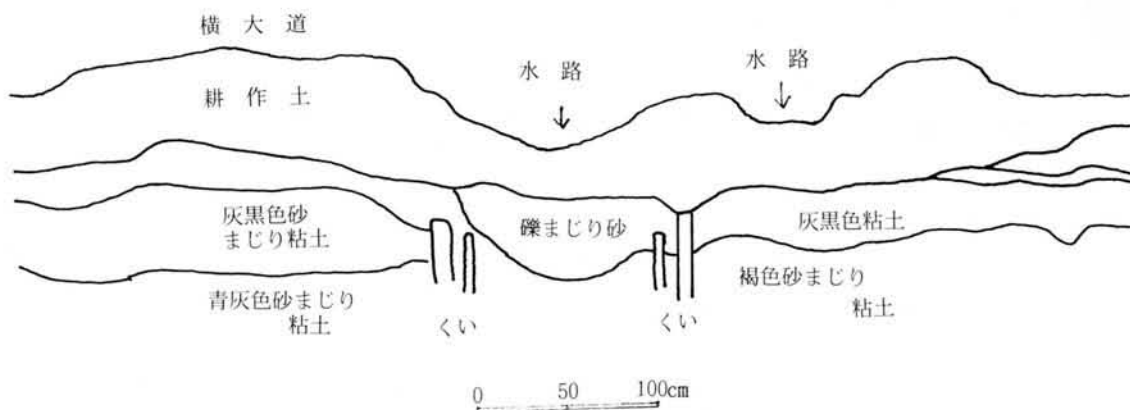
- I 層 茶褐色土 (耕作土)
 - II 層 茶褐色土 上面赤褐色土で、酸化鉄粒を含む
 - III 層 黒色土 少量の酸化鉄粒・粘土ブロックを含み、砂質性に富み、粒子は細かい。
 - IV 層 茶褐色土 上面赤褐色を呈し、酸化鉄をバンド状に含む
 - V 層 暗赤褐色粘土層
-
- 1 層 茶褐色土 酸化鉄粒・1～2cmの礫を含む
 - 2 層 黒褐色土 少量の酸化鉄粒1～2cm
 - 3 層 黒褐色土 径2～3cmの小石・砂粒子を含み、ボソボソしている。
底面には砂粒子をブロック状に含む。

山辺条里遺構 (山形県)



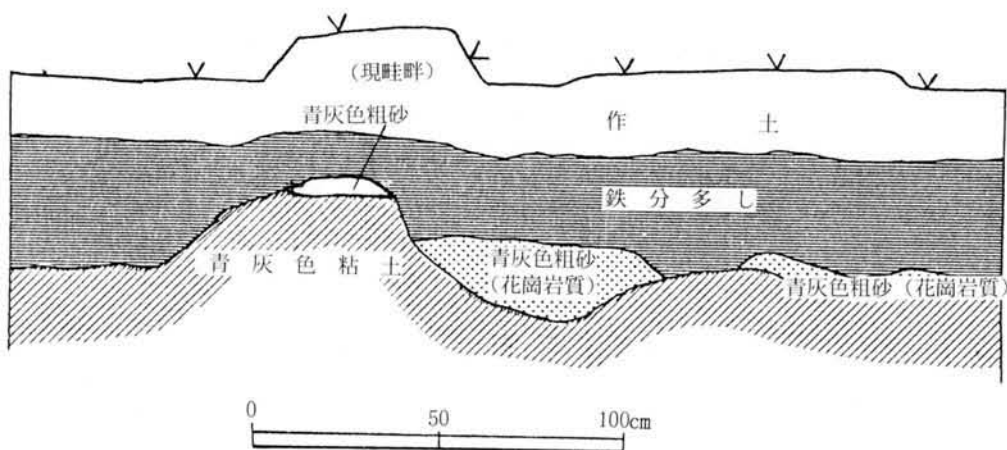
V層が埋没畦畔

竹田沖条里遺構 (新潟県)



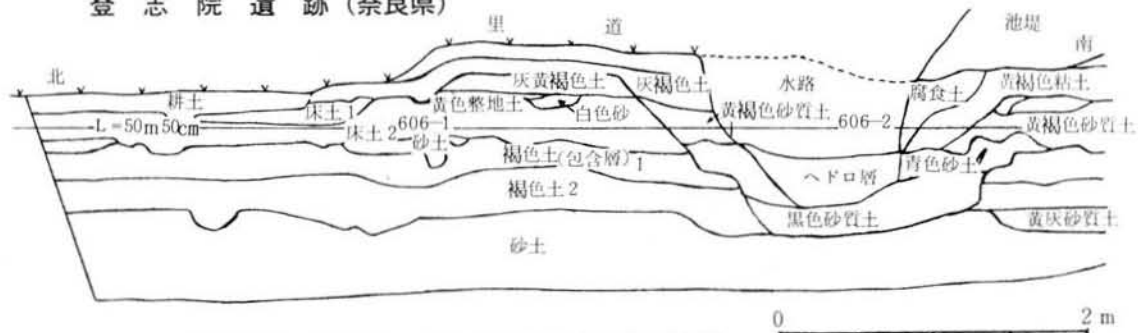
現道路下層約50~60cmの褐色砂まじり粘土層は条里畦畔と思われる。

草津市吉田の条里遺構 (滋賀県)

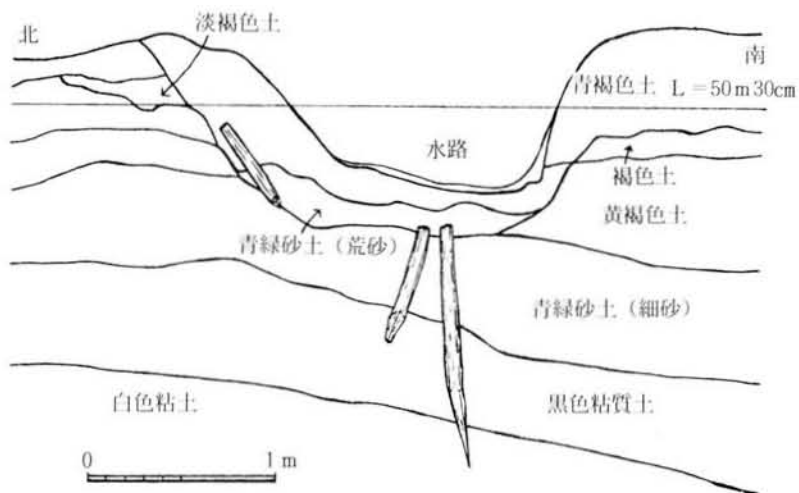


青灰色粗砂をのせた青灰色粘土の立ち上がりが旧畦畔で、その隣りの青灰色粗砂の堆積した凹みが畦畔に付属した小水路の痕跡と解釈できる。

登志院遺跡(奈良県)

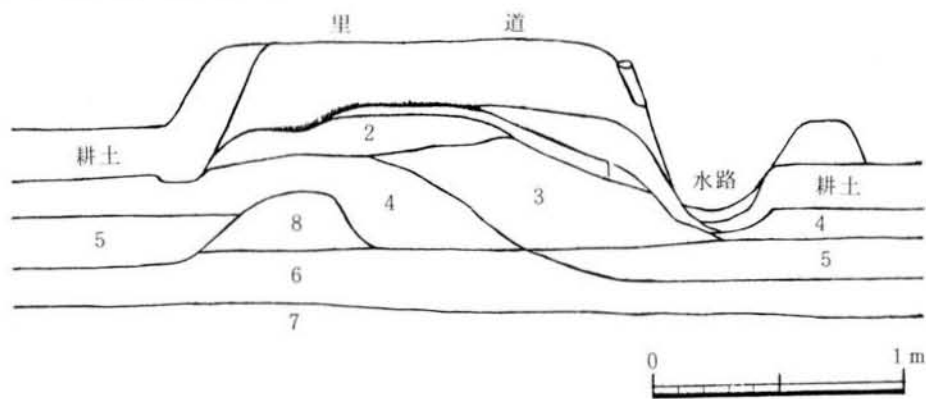


条里制造溝、坪界里道・水路の断面図(神築田地区南部)



条里制造溝神築田、東角地区坪界断面図

酒之免遺跡(奈良県)

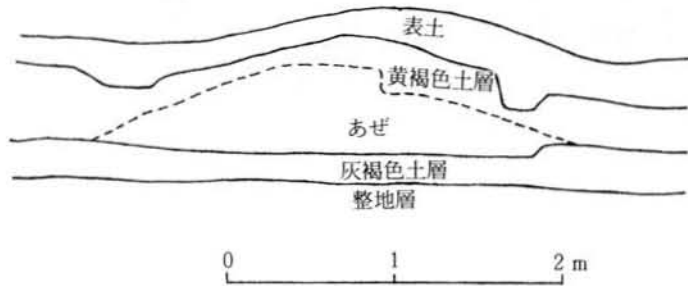


- 1 灰色粘質土 2 灰褐色砂質土 3 灰色砂土 4 灰褐色砂質土 A
5 灰褐色砂質土 B 6 灰色粘土 7 地山 8 条里畦畔

里道断面

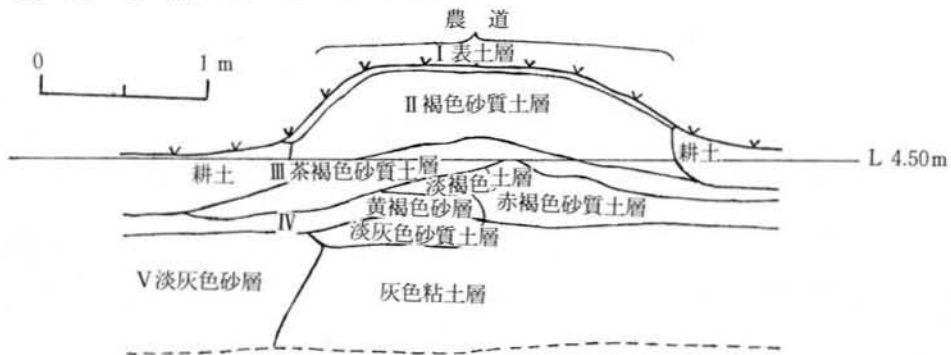
平群郡条里八条七里の33・34坪の坪界線

勝部遺跡 (大阪府)



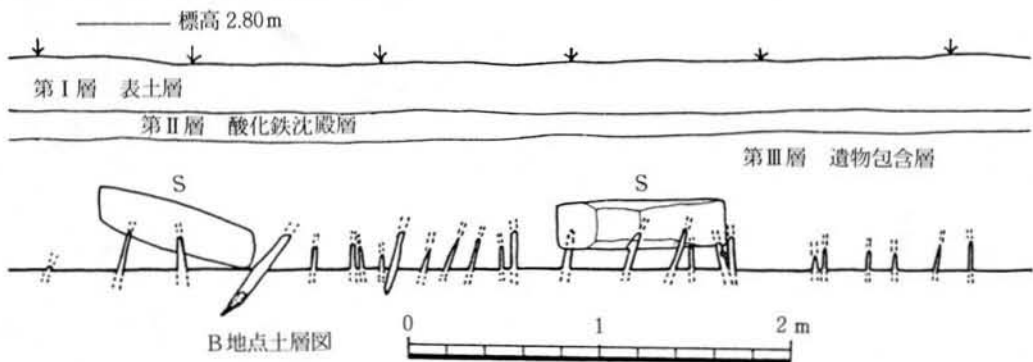
勝部遺跡は条里遺構の整然とした地区で、豊島郡北条12条12里および11条2里にあたる。第4層の整地層は、混入している土器の下限が平安時代から鎌倉時代であるから、その頃造成されたと思われる、条里の実施時期を再検討する必要がある。

池島町の条里遺構 (大阪府)



Ⅲ・Ⅳ層が古い畦畔の痕跡

下山門遺跡 (福岡県)



下山門遺跡のB地点で、2列づつ直交する杭列を検出した。その南北方向の杭列が旧畦畔で、東西方向の杭列 (上図はこのうちの1列) は、砂丘と耕地の境界と考えられている。